

キャラクター名
緒方 孝 (おがた こう)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー		ワークス	医者	カヴァー	闇医者
	ソラリス			年齢	22	性別
オプション	覚醒	死	衝動	自傷	初期侵食率	34 %
出自	親に捨てられる		経験	闇医者家業	邂逅	山本・ジェームズ・元柳斎

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	3	1	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:	4		情報:	1	
運転:			芸術:			知識:	1		情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
メモリー: 山本・ジェームズ・元柳斎	
メモリー: 最初の患者	
エンブレム: Rバランサー	
コネ: 情報屋	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
触媒 (カタリスト)	P	N		
親	P 同情	N 疎外感		
荻窪ジャスティス	P 感服	N 困惑		
『夢の中のヒト』(シナリオロイス)	P 庇護	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 11

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
活性の霧	5	3	セットアップ	至近	単体	自動		
効果:	ラウンドの間、対象の攻撃力+LV*3 対象のドッジ判定ダイスを-2個する。対象は拒否可能。							
タブレット	3	2-1	オート	至近	自身	自動		
効果:	ソラリスエフェクトの射程を「視界」にする シーンLV回							
多重生成	2	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果:	ソラリスエフェクトの対象をLV+1体に変更							
狂戦士	3	5	メジャー	視界	単体	自動	80%	
効果:	対象の次のメジャーアクションのC値を-1(下限値6) ダイスを+LV*2する							
栄光の血	3	4	オート	視界	単体	自動	80%	
効果:	自分以外の対象が判定を行なった時に使用。達成値を+LV*3する。自分は1D点のHPを失う。ラウンド1回。							
ヒーリングウィルス	10	1	クリンナップ	至近	範囲(選択)	自動		
効果:	対象のHPをLV点回復する。戦闘中ではない場合シーン1回							
冥府の棺	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	重圧中でも使用可能。BSを受けた直後に使用。暴走以外のBSをひとつ回復する。							
抱擁	1	2	メジャー	至近	単体	自動		
効果:	オーヴァードには効果がない。対象の死亡を回復し、HPを1点まで回復する。対象はオーヴァードとして覚醒する可能性がある。							
生命治療	1		メジャー	至近	単体	自動		
効果:	血を分け与えることで怪我や病気を治療できる オーヴァードには効果がない。使用するとHPを1点失う。							
超越的能力: 生命治療	1		常時	至近	自身	自動		
効果:	LV個のEEを効果に同意したエキストラ以外やオーヴァードのキャラクターにも効果が発揮されるようにする。							
変貌の果て	1		常時	至近	自身	自動		
効果:	顔や皮膚が能力による負荷で爛れてしまった							
声無き声	1		メジャー	視界	シーン(選択)	自動		
効果:	自分の思念を離れた相手に伝える							
ブラッドリーディング	1		メジャー	至近	単体	自動		
効果:	血や体液からその主の情報を読み取る。性別、年齢、感情など。							

「……俺の治療は普通じゃない。気持ち悪いと思うなら無理はいわない。やめておけ」
「オーヴァードに成る前も、成った後も、独りの俺は無力だ」
「俺には、誰かを助ける力がない。だから、お前達の力が必要なんだ。助けてくれ。俺の助けたい人を、救うために」

【主要設定】
裏社会にて闇医者家業を営む男。全身に包帯を巻き、さらにフード付の素肌を見せない服を着用している。包帯の下は爛れた皮膚になっている。長身。血液を劇薬に変える能力を持つ。性格は根暗、自分についてはネガティブ。しかし他者を助けたいという思いを抱いており、そのために仲間を求める。

【能力】
体内の血液を劇薬に変える能力を持つ。劇薬はあらゆる怪我や病気を治し、他者に戦う力を与え、さらには死者まで救う。しかし劇薬の代償として自分の体に大きなダメージが帰って来るため、全身が爛れ、皮膚がケロイドのように変質し、激痛を感じてしまう。この劇薬はさらに異常な能力を彼にもたらした。レネゲイドを通じて他者と精神を繋げてしまうのである。(Dロイス触媒の効果)
この能力を彼は完全には制御できておらず、彼が望まなくとも他人と繋がってしまうことがある。
この効果には副作用があり、繋がった他者に引きずられたり、繋がった相手に強い感情を彼が抱くことで、劇薬の濃度が高まり、彼自身の肉体にダメージと激痛を与えてしまう。

【生業】
裏社会にて闇医者家業を営んでいる。自分の血液を劇薬にし、相手に飲ませる治療を行なう。彼はその行為をすべて患者に話し、見せ、それでも治療を受けるかどうか選択させる。拒否した場合はそのまま帰し、受け入れたら治療を行なう。劇薬の効果は凄まじく、病氣も怪我もめざましい回復を見せる。一般人がこの通常の治療を受けてもオーヴァードに覚醒することはない。その可能性があるのは『死者の蘇生』の治療を行なった場合のみである。彼はこの行為の危険性を認識しており、滅多に行使することはない。ただし、患者が強く望み、彼が助けたいと決心した時のみ、この禁忌の治療を行なう。